

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 人間と社会 科目 人間と社会

教科： 人間と社会 科目： 人間と社会

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者： ()

使用教科書： (『人間と社会』)

教科 人間と社会

の目標：

- 【知識及び技能】 一人の人間として培ってきたものの見方や考え方を働かせ、様々な場面において行動を選択することができる資質や能力を講義や体験活動を通じて育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会に生きる構成員として、ある課題に対して他者の意見を傾聴し、お互いの価値観を高めることで、道徳性を養い、社会で協働する資質を演習などを通じて育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 社会的現実には照らして、様々な場面で妥当な判断基準を設定できるように、主体的にかかわる素養を培う。

科目 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、その解決に向けて必要な知識や技能を身につける。	社会的現実には照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見出し、情報を収集し、それらを整理・分	演習や体験活動に主体的に・協働的に取り組むことにより、人間としての在り方・生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	配当			
				知	思	態	時数
前期	オリエンテーション ・教科「人間と社会」の目的とその意義を理解する。 ・教科「人間と社会」の目的とこの授業を通して培う力を確認する。 ・教科「人間と社会」の目的とこの授業が今後どんな役に立つのかを意味する「支え合う社会」 ・教科書の演習を通して、必要最低限なすべきことを理解する。 ・演習の事例での話し合いを通して、自分の考え方を他者と共有し、客観的な視点で自分の意見をとらえてみる。 ・他者と協働することで、よりよい共同生活の営みができることを、「自然と人間の関わり」「科学技術と生命倫理」	・教科「人間と社会」の目的とその意義を理解する。 ・意見交換 ・指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・教科書の演習を通して自助・共助について学ぶ。 ・一人1台端末の活用 ・意見交換	・教科「人間と社会」を学ぶ目的を理解している。 ・教科「人間と社会」で自分に生まれる気づきを言葉にできる。 ・教科「人間と社会」の主旨に基づき、人間性を深める態度が見受けられる。	○	○	○	4
	教科書の演習を通して、科学技術の素晴らしさと、見落としがちな視点を理解する。 ・演習の事例での話し合いを通して、自分の考え方を他者と共有し、客観的な視点で自分の意見をとらえてみる。 ・他者と協働することで、科学技術の普及に寄与することができることを理解する。	・講演を聞いて科学技術の奥深さに気付く。 ・プリント ・レポート	・科学技術のメリット・デメリットを自分の言葉で説明できる。 ・科学技術のメリット・デメリットについて他者と意見を交換し、自分の考えを言葉にできる。 ・科学技術のメリット・デメリットについて他者と意見を交換する準備があり、他者に意見を傾聴できる。	○	○	○	7
	自然と人間の関わり 科学技術と生命倫理③ 教科書の演習を通して、科学技術の素晴らしさと、見落としがちな視点を理解する。 演習の事例での話し合いを通して、自分の考え方を他者と共有し、客観的な視点で自分の意見をとらえてみる。 他者と協働することで、科学技術の普及に寄与することができることを理解する。	講演を聞いて科学技術の奥深さに気付く。 プリント レポート	・科学技術のメリット・デメリットを自分の言葉で説明できる。 ・科学技術のメリット・デメリットについて他者と意見を交換し、自分の考えを言葉にできる。 ・科学技術のメリット・デメリットについて他者と意見を交換する準備があり、他者に意見を傾聴できる。	○	○	○	7
後期	1年間培った知識や技能を通して、堂々と発表することができる。 1年間他者と意見を交換していく中で、自分の中に生まれた変容を発表を通してうまく表現することができる。 1年間様々なテーマで協働してきた中で、より深みがある人生を生きるきっかけを作ることができたかを振り返る。	・1年間を通して学んだことを発表する。 ・発表	1年間を通じて、教科「人間と社会」を学ぶ目的を理解し、知識や技能の向上が見られる。 1年間を通じて、教科「人間と社会」で自分に生まれる気づきを言葉にし、他者に受容されている。 1年間を通じて、教科「人間と社会」の主旨に基づき、人間性を深める態度が見受けられた。	○	○	○	7
	合計						31